



井田浩一さん(左)と四方夏希さん。井田商店本社前にて。



事業内容：非鉄金属、アルミニウム、ステンレス、エンジニアプラスチックの卸・寸法切り・小売り



# 納品書のイメージ画像をOCR処理し、 ファイル名の付与とフォルダーへの仕分けを自動化 「PaperStream Capture Pro」の「帳票レイアウト識別」機能で 電帳法「スキャナ保存制度」にらくらく対応

大阪府大阪市の株式会社井田商店はアルミやステンレスなど金属素材の卸を営む企業です。同社では、60に及ぶ仕入先から受け取る納品書などの紙書類を電子帳簿保存法(電帳法)の「スキャナ保存制度」に沿ってデータ化し保存する作業を効率化するため、「RICOH fi Series」(以下、fiシリーズ)と有償ソフトウェア「PaperStream Capture Pro」を導入しました。これらの活用により、多様な帳票を手早くイメージデータ化し、電帳法の検索要件を満たすファイル名付与とフォルダーへの仕分け保存を自動で行えるようになります。同社を訪ね、導入の背景と、今後どのような効率化が実現するのかを詳しくうかがいました。

- 課題** 電帳法「スキャナ保存制度」への対応にあたり、仕入に必ず付随する納品書など、大量の紙書類のイメージデータ化と保存に手間と時間がかかっていた。
- 解決法** A4コンパクトスキャナー「fi-800R」と、手書き文字のAI-OCRなど高度な機能が搭載された有償のイメージキャプチャリングソフトウェア「PaperStream Capture Pro」を導入。
- 効果** 複合機から「fi-800R」への移行でスキャン作業の時短が即座に実現。また近々本格運用が始まる「PaperStream Capture Pro」により、イメージデータへのファイル名付与と仕分け保存が自動化され、「スキャナ保存」が最大限に効率化される見込み。

## 手動でのリネームと保存の手間をなくすために 「PaperStream Capture Pro」を導入し「スキャナ保存」を完全自動化

— 株式会社井田商店 代表取締役社長の井田浩一さんと、営業チームの一員で経理も担当されている四方(しかた)夏希さんにかかっています。井田商店では2025年1月にA4コンパクトスキャナー「fi-800R」と有償のイメージキャプチャリングソフトウェア「PaperStream Capture Pro」を導入されました。その目的は電子帳簿保存法(電帳法)「スキャナ保存制度」への対応を円滑化するためとうかがっています。どのような書類をスキャンして保存するのでしょうか。

**井田さん** 主に仕入に伴う支払関係の書類です。

**四方さん** いちばん多いのは仕入先からいただく納品書で、あとは請求書と領収書ですね。それらが毎日発生するので、スキャンしてデータを保存します。

— 「fiシリーズ」の標準添付ソフトウェア「PaperStream Capture」

とは別に、有償の「PaperStream Capture Pro」を導入された狙いを教えてください。

**井田さん** スキャンして生成したイメージデータからOCRでデータを抽出し、電帳法の検索要件である「取引年月日」「取引先」「取引金額」から成るファイル名を自動で付与した上で、随意的フォルダーに自動で仕分けて保存できるようにするためです。

井田商店には一日を通してたくさんの商品が納入されます。荷物単位で必ず紙の納品書が付随します。

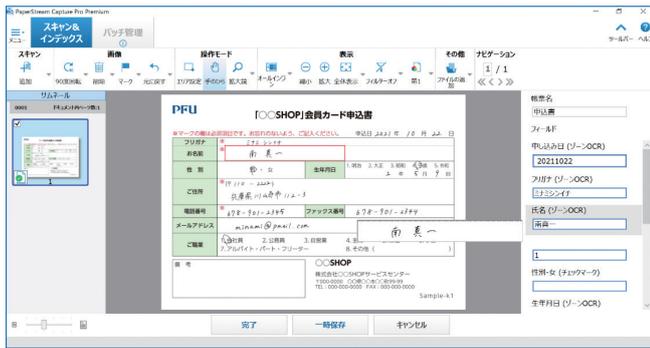
一日分のスキャン対象書類。最も多いのは納品書です。サイズ、紙質、書式は多様です。



# 「PaperStream Capture Pro」のOCR機能で“帳票からデータを抽出”し、電帳法の検索要件を満たすファイル名付与と仕分け保存を自動化

—「PaperStream Capture Pro」は手書きを含めて1帳票あたり100項目までのデータ抽出が可能なので、電帳法で定められた検索要件を書類から確実に抜き出せます。また、登録済みの書式を自動で識別して仕分ける「帳票レイアウト識別」機能を備えているため、複数のフォルダーに自動で仕分けて保存できます。それらの機能を活用して、より効率的かつ正確な電帳法対応を目指していただけるのです。現時点での稼働状況を教えてください。

**井田さん** 現在はスキャン作業を複合機から「fi-800R」に置き換え済みで、一方の「PaperStream Capture Pro」は本格運用に向けて書式の登録を進めている段階です。したがって現時点ではファイル名付与と仕分け保存を手作業で行っていますが、登録が完了してそれらが自動化されれば、手間が削減される上に入力ミスや保存先の誤りも基本的になくなります。



「PaperStream Capture Pro」は手書き文字・活字・バーコード・チェックマークなどを認識し、さまざまなデータ抽出に対応しています。データ抽出は1帳票あたり100項目まで指定できます。

## 登録済みの帳票と比較しレイアウトを識別

## 一致した設定でデータ抽出し、仕分けて保存



「帳票レイアウト識別」により、レイアウトの異なる帳票をまとめてスキャンした場合でも、登録済みの帳票リストから該当する帳票を識別します。それぞれのレイアウトに応じたデータ抽出を行い、認識結果をフォルダー名やファイル名に活用できます。

# 複合機からA4コンパクトスキャナー「fi-800R」への移行で早くもスキャン作業の時短が実現した

—「fi-800R」を導入する前は複合機でスキャンされていたとのこと。現在はどう変化しましたか。

能もすぞいと思います。「fi-800R」にしてから本当に楽になったと、営業チームの全員が感じています。

**四方さん** 以前はADFに流せる書類と、1枚ずつガラス面に置いてスキャンしたほうがよさそうな書類を分別していましたが、「fi-800R」はサイズやフォーマットがバラバラの書類を重ねてスキャンできるので分別の必要がなくなり、短時間で保存までを済ませられるようになりました。書類を逆さまにセットしてもデータを補正してくれる機



コンパクトな「fi-800R」はデッドスペースになりがちな場所にも置けます。



排紙スペース不要の「Uターンスキャン」によって1分間にA4書類40枚・80面をスキャンします。

